

千曲市デマンド型乗合タクシーの今後の方向性について

千曲市 総合政策課

1. 実証運行の目的

●目的

・市内幹線及び支線の効率的かつ持続可能な運行体制の構築を目指すため、デマンド型乗合タクシーの実証運行を市内3エリアにおいて実施し、市内幹線及び支線の再編に向けた検証を行う。

2. 実証運行の概要

	デマンド型乗合タクシー	循環バス
稲荷山・八幡 エリア	9:00～15:30 までの間 6便運行(R7.4から7便に増便)	デマンド運行時間帯の 「姨捨線」を減便（朝夕はバス継続）
更級 エリア		デマンド運行時間帯の 「更級戸倉線」を減便（ 〃 ） →「大循環線東回り」として運行
上山田 エリア		デマンド運行時間帯の 「上山田線」を減便（ 〃 ） →「大循環線西回り」として運行

3. 実証運行の経過

- (1) 令和5年9月25日～令和7年4月13日までを計画期間として実証運行を開始
- (2) 午後1時便を増便するなど、利便性を向上させた上でさらなる評価検証を行うため、令和7年4月14日～令和8年4月19日まで、実証運行期間を延長

4. 実証運行エリアの令和8年度運行方針（素案）

実証運行を行った3つのエリアにおいて
実証運行期間終了後も利便性を高めた上で運行を継続し
令和8年4月20日から本格運行に移行させる

5. 運行方針（素案）策定の背景

(1) 公共交通利用者数に与える好影響

☞ デマンド実証運行による令和 6 年度利用状況を令和 4 年度と比較したところ、関連する路線及びエリアを合計すると+520 名増となっており、公共交通全体の利用者増に繋がっている。（表 1 参照）

(2) デマンド型乗合タクシーの特長を活かした移動の実現

☞ エリア差はあるが、デマンド専用停留所を利用した移動が一定数確認できたことから、バスでは対応が難しかった移動ニーズにデマンド型乗合タクシーが応えることができる。（表 1 参照）

(3) バス・タクシー事業の環境変化に対応した持続可能な運行体制構築の必要性

☞ バス・タクシー事業者の経営環境の変化が著しく、特に運転手不足は深刻な状況。千曲市においても運転手不足を要因として一部路線から交通事業者が撤退するなど、地域公共交通の持続可能性が懸念されている。そのため、地域の交通資源であるバス・タクシー事業者を総動員した運行体制により、持続可能性の高い公共交通を目指す必要がある。

（表 1）実証運行期間中のデマンド・バス利用状況（令和 6 年度実績）

	デマンド型乗合 タクシー利用状況	関連する 循環バス路線の利用者数	
稲荷山・八幡 エリア	利用者数: 798 名 乗合率: 1.2 ※1 デマンド専用停留所利用率: 73%	姨捨線 7,315 名 ※2 (R4 12,068 名) 対比 -4,753 名	大循環線(東) 27,479 名 (R4 23,293 名) 対比 +4,186 名
更級 エリア	利用者数: 435 名 乗合率: 1.1 デマンド専用停留所利用率: 49%	更級戸倉線 3,460 名 (R4 7,265 名) 対比 -3,805 名	大循環線(西) 25,799 名 (R4 20,096 名) 対比 +5,703 名
上山田 エリア	利用者数: 553 名 乗合率: 1.1 デマンド専用停留所利用率: 13%	上山田線 10,457 名 (R4 13,054 名) 対比 -2,597 名	
利用者数 合計	1,786 名 (R4 比+1,786 名)	21,232 名 (R4 比-11,155 名)	※3 53,278 名 (R4 比+9,889 名)

※1 デマンド専用停留所利用率：乗降地点のいずれかにデマンド専用停留所を含む利用率

※2 令和 5 年度中 (R5.9) からデマンド実証運行を開始したため、前後比較のため R6 実績を R4 対比とした

※3 令和 6 年 4 月から大循環線(東回り・西回り)は日曜・祝日が全便運休

6. 継続して取り組む課題（市）

(1) 利用促進に向けた取り組み

「住民説明会」「買い物ツアー」等の取り組みを千曲市社会福祉協議会をはじめとする市内福祉団体等と協働して各地域で開催し、デマンド型乗合タクシーの利用方法の説明や乗換え案内、乗車体験等を通してデマンド型乗合タクシーの利用促進を図る。

実施時期：令和7年6月～

(2) 利便性向上に向けた取り組み

利用者や地域住民の要望等に基づき、デマンド専用停留所の設置を各エリアで進め、デマンド型乗合タクシーの利便性を向上させる。

実施時期：令和7年7月～

7. その他研究課題（関係者との協議が必要な課題）

(1) デマンド型乗合タクシーの運行エリア・運行方法・運賃体系等の見直し

利用者や市民から多く要望が寄せられる「運行エリアの拡大」や、停留所までの移動が困難な方に対する自宅前までの送迎等の「運行方法の見直し」については、タクシー事業者の経営に与える影響も少なくないことから、引き続き関係者で協議し、実現可能な施策について引き続き研究する。また、乗合率の向上のための施策として、運賃体系や割引制度のあり方についても研究を継続する。

8. スケジュール

(1) 6月下旬～7月下旬

- ・実証運行エリアの運行方針（素案）に対するデマンド・バス利用者へのアンケート実施

(2) 7月中旬～8月上旬

- ・（必要に応じて）市と交通事業者等による打合せ実施

(3) 8月中下旬

- ・第2回千曲市地域公共交通活性化協議会